

令和3年度優良地方公営企業 総務大臣表彰を **受賞**しました。



○優良地方公営企業総務大臣表彰とは

経営の健全性が確保されており、かつ、他の地方公営企業の模範となる取組を行っている地方公営企業を対象として、平成26年度(2014年度)から総務大臣表彰が行われています。

○選考基準の概要

- ◇ 経営の健全性が確保されている
- ◇ 他の公営企業の模範となる経営及び運営が行われている
- ◇ 地域で公共の福祉を増進するために運営されている

※参考:全国の地方公営企業数(病院事業を除く)約7,600(令和元年度末時点)



○本市が評価されたポイント

- 💧 水道版タウンミーティング「水道いどばた会議」等
住民参加の取組を積極的に実施。
- 💧 水道事業の諸課題への住民理解を得るための取組が
料金改定につながり、経営基盤の強化を図った。
- 💧 「吹田版アセットマネジメント※ツール」を作成し、
他団体へ無償で提供。



西山田地区公民館での
「水道いどばた会議」の様子

※アセットマネジメント:中長期的な視点に立ち資産の管理を行う手法。

○受賞公営企業

<令和3年度>

- ◇大阪府吹田市(水道) ◇長野県企業局(電気) ◇埼玉県戸田市(水道、下水道)

○過去3回の受賞公営企業

<令和元年度>

- ◇香川県広域水道企業団(水道) ◇熊本県荒尾市(水道) ◇千葉県柏市(下水道)

<平成30年度>

- ◇兵庫県企業庁(水道) ◇大津市企業局(下水道) ◇上越市ガス水道局(ガス)

<平成29年度>

- ◇盛岡市上下水道局(水道) ◇長野県企業局(水道) ◇北九州市上下水道局(水道) ◇山梨県企業局(電気)

今後も「すいた水道」として健全な水道システムを未来につないでいくために、
将来世代の視点から、いまの施策を考える「フューチャー・デザイン」の手法
を取り入れながら地域に根差した事業運営に努めます。

